

PRESS RELEASE

2024年11月20日
 株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、SCSKと協業し、白井と印西のデータセンター間を相互接続

-- それぞれのデータセンターのお客様が、両社のサービスを安全かつ手軽に利用可能に --

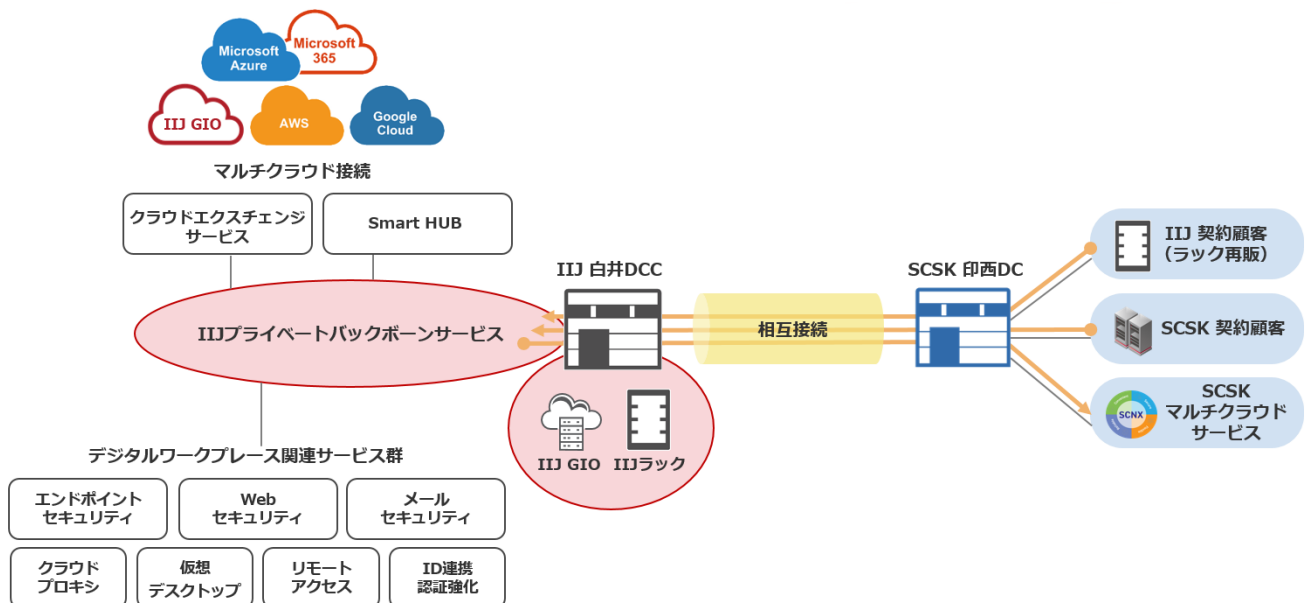
当社は、SCSK株式会社(以下 SCSK)と協業し、2024年12月より、IIJ 白井データセンターキャンパス(以下白井 DCC)と SCSK 印西キャンパスを相互接続することで合意しました。これにより両社のお客様は、データセンター(以下 DC)間の閉域ネットワークを個別に構築することなく、双方のネットワーク関連サービスやラックサービスを、ニーズにあわせて安全かつ手軽に使えるようになります。

IIJ 白井 DCC は、5G/IoT/AI/クラウドサービス等で爆発的に増大するデジタルデータを集約する大規模 DC として、2019年5月に千葉県白井市において運用を開始しました。白井 DCC の立地する千葉県印西地区は、世界の IT 企業の DC 集積地となっており、IIJ では、各種クラウドサービス、近郊 DC、IX(インターネット相互接続点)等と接続するネットワーク HUB 構想のもとネットワークの拡充を進めており、この度、SCSK 印西データセンターとの相互接続を実現しました。

■協業概要

IIJ と SCSK それぞれの DC を相互接続し、お客様が個別のネットワークを構築することなく、手軽に利用できる閉域ネットワークを提供します。この閉域ネットワークを通じて、互いの DC のラック同士を接続できることに加え、IIJ および SCSK のネットワークサービス「IIJ プライベートバックボーンサービス」、「SCSK Cloud netXchange (SCNX)」を経由して、両社のネットワーク・セキュリティサービスやクラウド関連サービスを、安全かつ安定した環境で手軽に利用可能になります。

イメージ



■お客様メリット

両社の豊富なサービスを利用可能

IIJのお客様は、SCSKのマルチクラウド接続サービス「SCSK Cloud netXchange Service (SCNX)」を利用したパブリッククラウドへの閉域接続が可能になり、IIJ Smart HUB 経由でのマルチクラウド接続と組み合わせることで、より堅牢なバックアップ環境の構築が可能となります。

一方 SCSK のお客様は、IIJ プライベートバックボーンサービスを経由して、IIJ の提供する Microsoft365 への閉域接続サービスや、インターネットアクセス、メール、Web セキュリティなど各種デジタルワークスペース関連サービスを利用することが可能になります。

両社の DC のラックを活用可能

両社どちらの DC にラックをお持ちのお客様も、もう一方の DC ラックとの閉域ネットワークを手軽に利用でき、お客様の需要や拡張計画に合わせて相互のラックスペースを柔軟に活用いただけます。

■提供開始日

2024年12月19日

■SCSK 印西データセンターへの接続費用

帯域に応じた個別見積もり

<エンドースメント>

この度、IIJ様とのパートナーシップが実現し、大変喜ばしく思っております。

生成 AI の普及やパブリッククラウドのさらなる活用により、オンプレミスや様々なクラウドを用途に応じて使い分けるお客様が増えており、それらを相互に接続するネットワークの重要性が高まっています。これに対し、SCSK 印西キャンパスはパブリッククラウドとのコネクティビティを強みとし、お客様はハイブリッド・マルチクラウド環境を容易に構成することが可能です。

今回の協業により、IIJ様の豊富かつ信頼性の高い IIJ プライベートバックボーンサービスと SCSK の低遅延かつ高品質な SCNX が連携することで、お客様へより付加価値の高いサービスを提供できると考えております。

今後もデータセンターが集積する千葉県印西地区において、両社の強みを活かし、より多くのお客様にご利用いただける多様なサービスを提供することで、お客様の DX 実現や事業成長を支援し続けます。

SCSK 株式会社 業務役員 ソリューション事業グループ netX データセンター事業本部 本部長
小笠原 寛

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 増田、荒井

TEL:03-5205-6310 FAX:03-5205-6377

E-mail:press@iij.ad.jp URL: <https://www.iij.ad.jp/>

※本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。